

指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	県立農業大学校農業総合研修センター 及び宮崎県農業科学公園
指定管理者	学校法人宮崎総合学院
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	農政水産部農業経営支援課

1 施設利用状況

指標	H28	H27	H26	増減理由等
研修実績(延べ人数)	18,311	17,819	14,587	指定管理導入による研修内容の充実により、研修実績、宿泊者数ともに増加している。 積極的なイベントの開催により、農業科学公園入館者数は順調に増加しており、また、農業科学公園入園者数についても、H26年度の実績には届いていないもの、昨年度に比べて増加している。
研修宿泊者数(延べ人数)	1,825	1,461	961	
農業科学公園入園者数	227,802	211,220	254,101	
農業科学館入館者数	36,880	34,338	33,799	
コメント	研修内容も充実してきており、また、公園入園者等の利用を促進する新たなイベントの開催などの工夫をするなど、利用者増への努力は評価できる。			

2 施設収支状況

(単位:千円)

収入	H28	H27	H26	支出	H28	H27	H26
指定管理料	63,271	63,271	—	人件費	43,695	44,955	—
利用料金	1,414	1,079	—	光熱水費	10,594	9,672	—
生産物売払収入	19,094	16,332	—	事務費	13,933	13,000	—
その他収入	41	12	—	その他	15,402	12,971	—
合計(①)	83,820	80,694	—	合計(②)	83,624	80,598	—
収支差額(①-②)	196	96	—				
コメント	効率的な運用や費用の削減の努力により、安定的な運営を行っており、評価できる。						

3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取り組んだ内容

事項	実施内容	
維持管理業務	清掃	研修センター事務室の日常清掃及び年1回の床面ワックスがけ、農業科学館・管理棟・ふれあい館・物産館・フラワーハウスの床面及び窓ガラス清掃、農業科学館雨樋清掃、除草、ウォーターランド点検(月2回)等
	保守・点検	浴槽水質検査(年3回)、貯湯槽(年1回)、重油地下貯蔵タンク(年1回)、除草・芝刈り(年6回以上)、ビニールハウス自動開閉装置動作点検(年1回)、環境制御システム動作確認(年1回)、ハウス用加湿機動作確認等(年1回)、ウォーターランド水質管理(随時)等
	警備	(県立農業大学校による警備)
	修繕	トラクター、公用車、運搬車、乗用草刈り機、加温機等
	備品等管理	備品等修繕(随時)
	安全対策	危機管理マニュアルの整備、消防訓練の実施、土日祝日の公園職員1名増員、公園遊具点検(年1回)
	その他	公園全体の植栽管理(芝生、花壇、樹木等)
企画運営業務	サービス提供体制整備	利用者アンケート(12回)、農業総合研修センターの休日利用や農業体験休日受入への対応、ウォーターランド再稼働
	イベント等ソフト面充実	主催研修・イベントの充実(ハロウィン・カボチャ祭、ビックフリーマーケットの新規開催)、ホームページの充実、農業科学公園パンフレットの作成等
	施設設備等ハード面充実	県によるみやざき農業実践塾ハウスを4棟増設(H27)、指定管理者による未利用地の解消とその有効活用
	その他	—
管理運営体制	緊急連絡網の整備	
コメント	使用を休止していたウォーターランドの再稼働に当たっては、事故の防止に努めるとともに、清掃や水質管理などが適切になされた。 みやざき農業実践塾の運営等においても精力的に取り組んでおり、就農者確保の実績も上げているところである。	

4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	アンケート調査(宿泊利用者に6回実施(回答28人)、リカレント研修受講者に2回実施(回答32人))	
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等	
丁寧に対応してもらえた。安く宿泊できて良かった。	今後も利用者サービスの向上、適切な施設管理に努める。	
様々な知見を得ることができ、大変わかりやすい説明だった。	今後も経験豊富な講師の選定に努める。	

5 総合評価

評価コメント	指定管理2年度であり、安定した業務運営がなされた。また、新たな担い手の育成、農業の普及啓発の取組も更に精力的に行っている。
今後の課題と対応	施設や農業用機械等の老朽化について、今後改善を図っていく必要がある。